

ミライAI

サービス連携の設定方法 編

更新日：2026年2月27日

※本設定方法の記載内容は、予告なく変更する場合がございます。

改版履歴

日付	改版内容
2021年4月19日	初版
2022年7月20日	Microsoft Teamsチャット連携マニュアルの追加
2023年2月13日	Google Chatチャット連携マニュアルの修正
2023年3月6日	Slackチャット連携マニュアルの修正
2023年7月4日	Slackチャット連携マニュアルの修正
2023年9月22日	LINE WORKSチャット連携マニュアルの追加
2024年7月29日	LINE WORKSチャット連携マニュアルの修正
2024年8月1日	Microsoft Teamsチャット連携マニュアルの変更
2024年11月12日	Microsoft Teamsチャット連携マニュアルの一部変更
2025年4月30日	LINEWORKS連携の記載を一部修正
2025年8月26日	Slackチャット連携マニュアルの修正 LINEWORKS複数人トークルームの設定方法追加
2025年9月30日	Slackチャット連携マニュアルの一部修正 LINEWORKS連携マニュアルの一部修正
2025年11月21日	Googleチャット連携マニュアルの一部修正
2026年2月27日	Teamsチャット連携マニュアルの一部修正

目次

- 1、Google Chatとの連携方法
- 2、Slackとの連携方法
- 3、Chatworkとの連携方法
- 4、Teamsの連携方法
- 5、LINE WORKSの連携方法

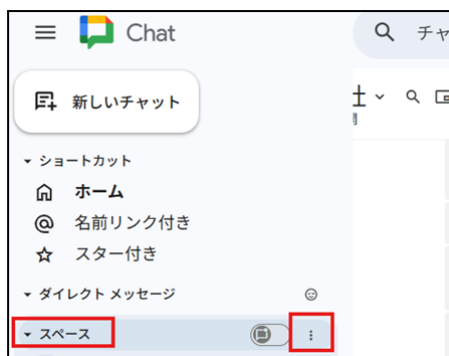
1、Googleとの連携方法

※有料版Google Workspaceのみ連携可能です。

■Google Chat事前準備

①連携用のGoogle Chatチャットを作成

▼「スペース」の右側にある「...」を押します。



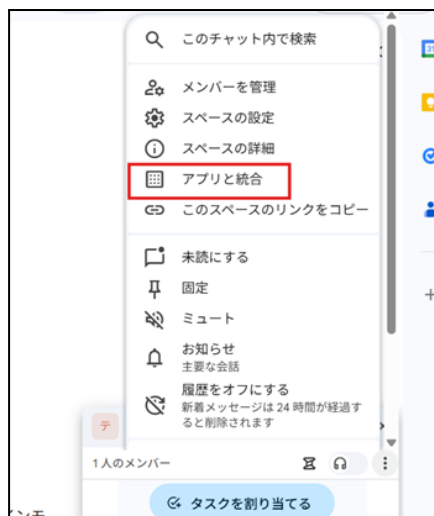
▼「+スペースを作成」をクリックします。



▼「作成したスペース名」を入力します。



▼「アプリと統合」押します。

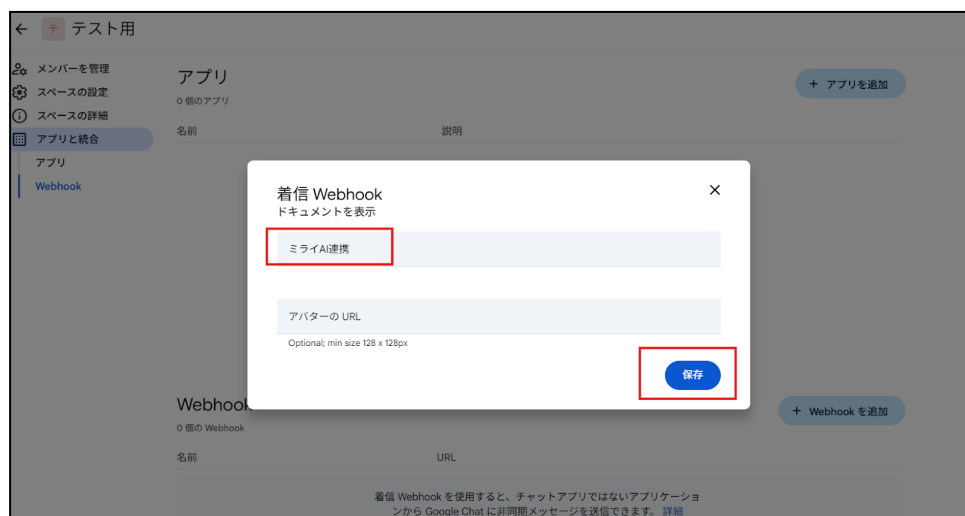


②Webhookを追加します。

※Webhookは有料版のGoogle Workspaceでのみ有効な機能なので、無料のGoogle アカウントでは利用できません。



③名前を記入して、「保存」を押します。



④表示されるURLをコピーします。



■ミライAI設定

①「シナリオ」より「編集」ボタンを押します。



②「会話内容をチャット送信」より「追加」ボタンを押します。



③「Google Chat」をクリック、「スペース名」を入れ、「WebhookURL」にコピーしたURLを貼り付け、「通知条件」を選択の上、「テスト接続」を押します。

④Google Chatの作成したスペースに「テスト送信」が表示されます。

⑤「通知条件」を選択の上、「追加する」および「保存」を押します。

※通知条件：「通話の後に送信」（通話履歴がまとまった形式でチャット送信されます）をご選択ください。

2、Slackとの連携方法

■Slack事前準備

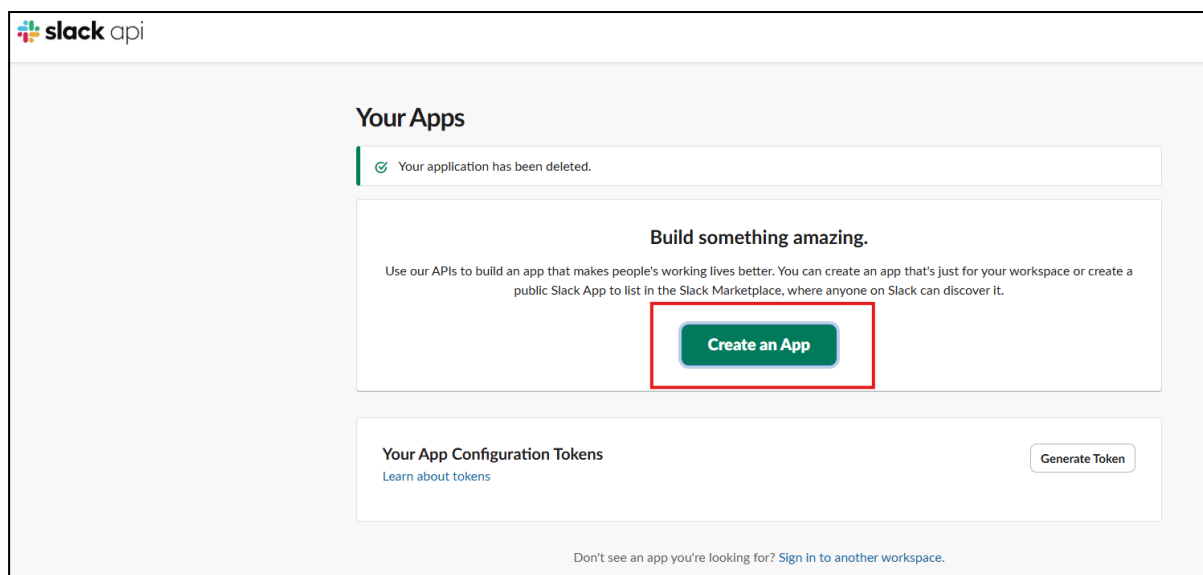
①Slackにサインインします。

slack.com/signin

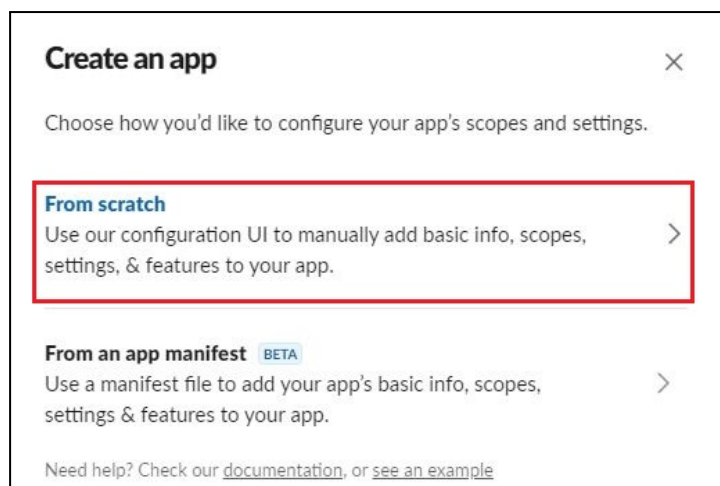
②Slack API Your Appsに入ります。

■Slack API URL：<https://api.slack.com/apps>

③「Create New App」をクリックします。



④ 「From scratch」 をクリックします。



⑤ 「App Name」 に任意の名称を入力し、「Pick a workspace to develop your app in」 より利用したいワークスペースを選択のうえ、「Create APP」をクリックします。

Name app & choose workspace ✕

App Name

ミライAI連携

Don't worry - you'll be able to change this later.

Pick a workspace to develop your app in:

ミライAI連携 ▼

Keep in mind that you can't change this app's workspace later. If you leave the workspace, you won't be able to manage any apps you've built for it.

[Sign into a different workspace](#)

By creating a Web API Application, you agree to the [Slack API Terms of Service](#).

Cancel Create App

⑥左メニュー「Incoming Webhooks」より「Activate Incoming Webhooks」のスイッチを「On」にします。

ミライAI連携用 ▼

Incoming Webhooks

Settings

- Basic Information
- Collaborators
- Socket Mode
- Install App
- Manage Distribution

Features

- App Home
- Agents & AI Apps NEW
- Work Object Previews NEW
- Workflow Steps NEW
- Org Level Apps
- Incoming Webhooks**
- Interactivity & Shortcuts
- Slash Commands
- Steps from Apps LEGACY
- OAuth & Permissions
- Event Subscriptions
- User ID Translation
- App Manifest NEW
- Beta Features

Submit to Slack Marketplace

[Review & Submit](#)

Activate Incoming Webhooks On

Incoming webhooks are a simple way to post messages from external sources into Slack. They make use of normal HTTP requests with a JSON payload, which includes the message and a few other optional details. You can include [message attachments](#) to display richly-formatted messages.

Adding incoming webhooks requires a bot user. If your app doesn't have a [bot user](#), we'll add one for you.

Each time your app is installed, a new Webhook URL will be generated.

If you deactivate incoming webhooks, new Webhook URLs will not be generated when your app is installed to your team. If you'd like to remove access to existing Webhook URLs, you will need to [Revoke All OAuth Tokens](#).

Webhook URLs for Your Workspace

To dispatch messages with your webhook URL, send your [message](#) in JSON as the body of an `application/json` POST request.

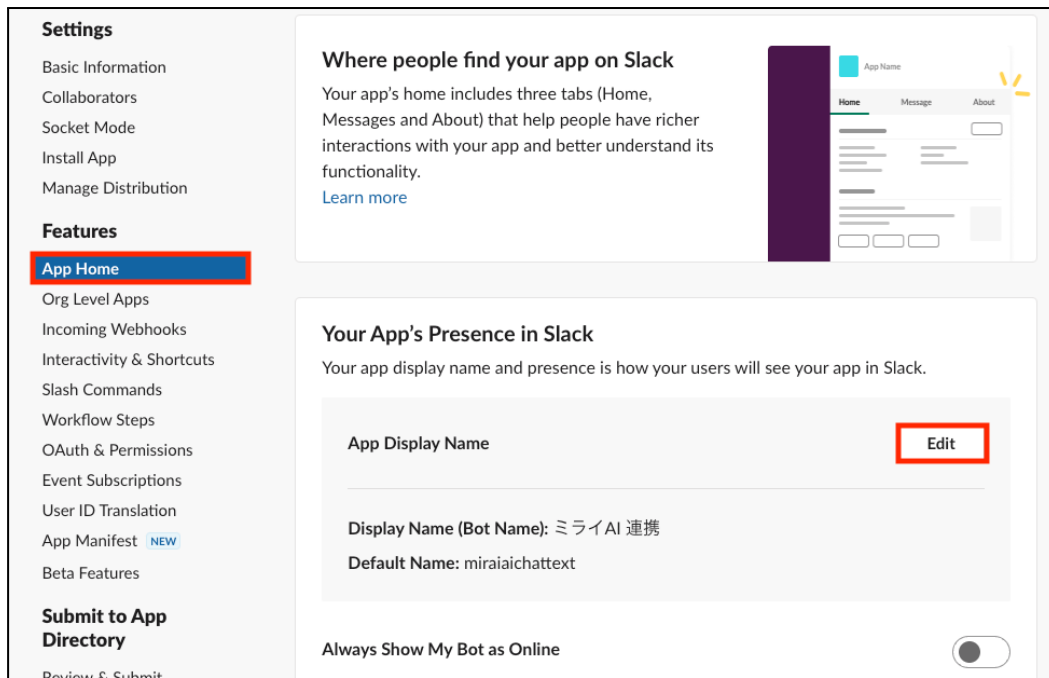
Add this webhook to your workspace below to activate this curl example.

Sample curl request to post to a channel:

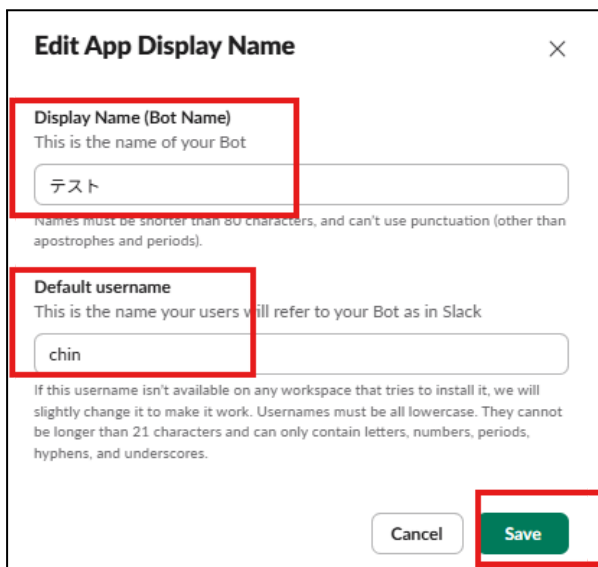
```
curl -X POST -H 'Content-type: application/json' --data '{"text": "Hello, World!"}' YOUR_WEBHOOK_URL_HERE
```

Webhook URL	Channel	Added By
-------------	---------	----------

⑦左メニューの「App Home」より「App Display Name」の「Edit」をクリックします。



⑧ 「Display Name (Bot Name)」 任意の名前を設定し、「Default username」を任意の名前に設定し、「Save」をクリックします。



⑨ 左メニュー「Incoming Webhooks」より「Add New Webhook」をクリックします。

ミライAI連携用 ▼

Incoming Webhooks

Settings

- Basic Information
- Collaborators
- Socket Mode
- Install App
- Manage Distribution

Features

- App Home
- Agents & AI Apps NEW
- Work Object Previews NEW
- Workflow Steps NEW
- One Level Apps
- Incoming Webhooks**
- Interactivity & Shortcuts
- Slash Commands
- Steps from Apps LEGACY
- OAuth & Permissions
- Event Subscriptions
- User ID Translation
- App Manifest NEW
- Beta Features

Submit to Slack Marketplace

- Review & Submit

Give feedback

Slack ♥

Help

Contact

Policies

Our Blog

Activate Incoming Webhooks On

Incoming webhooks are a simple way to post messages from external sources into Slack. They make use of normal HTTP requests with a JSON payload, which includes the message and a few other optional details. You can include [message attachments](#) to display richly-formatted messages.

Adding incoming webhooks requires a bot user. If your app doesn't have a [bot user](#), we'll add one for you.

Each time your app is installed, a new Webhook URL will be generated.

If you deactivate incoming webhooks, new Webhook URLs will not be generated when your app is installed to your team. If you'd like to remove access to existing Webhook URLs, you will need to [Revoke All OAuth Tokens](#).

Webhook URLs for Your Workspace

To dispatch messages with your webhook URL, send your [message](#) in JSON as the body of an `application/json` POST request.

Add this webhook to your workspace below to activate this curl example.

Sample curl request to post to a channel:

```
curl -X POST -H 'Content-type: application/json' --data '{"text":"Hello, World!"}'
YOUR_WEBHOOK_URL_HERE
```

Webhook URL	Channel	Added By
No webhooks have been added yet.		

Add New Webhook

⑩連携先に通知したいチャンネルを選択し、「Install (⑤App Name)」をクリックします。

「ミライAI連携用」アプリを Slack にインストールする

このアプリは、参加中のワークスペースCS検証用のメンバーにより作成されました。

Workspace

CS検証用 ▼

Webhook 用のチャンネル

テスト ▼

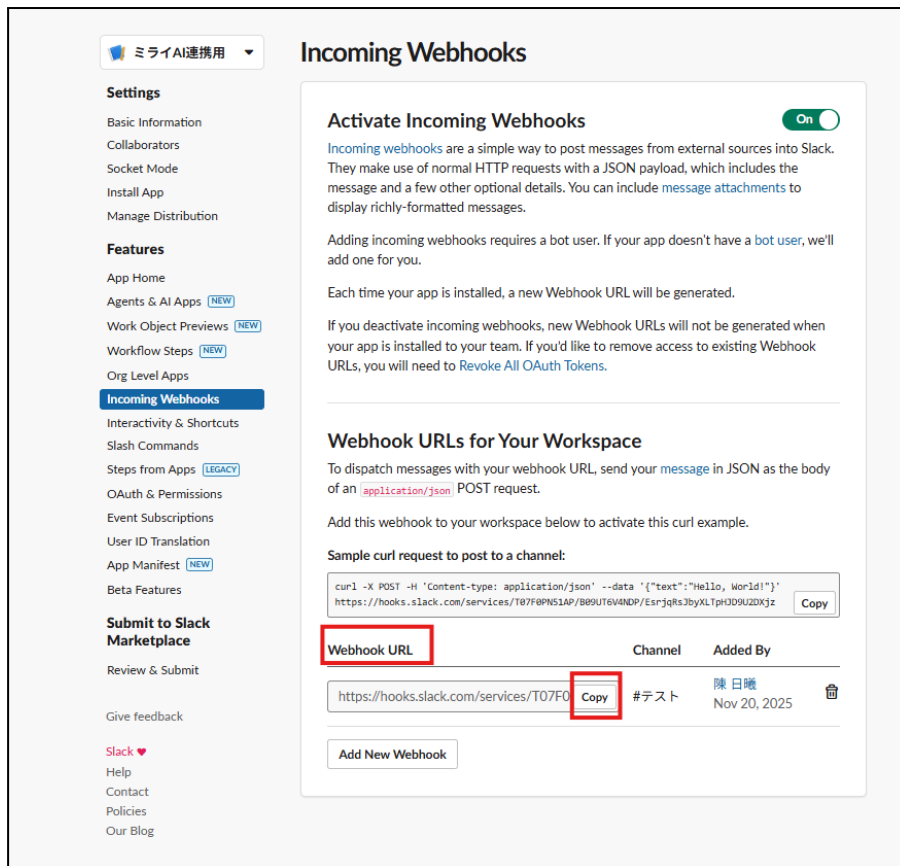
*「ミライAI連携用」がアプリとして投稿することのできるチャンネルを指定する必要があります。

Review app permissions

Slack will share your granted permissions with ミライAI連携用. View Slack's [privacy policy](#). By agreeing to allow Slack to share your granted permissions, you are also agreeing to ミライAI連携用の privacy agreement and terms of service. Please review ミライAI連携用の terms before installing.

キャンセル **Install ミライAI連携用**

⑪左メニュー「Incoming Webhooks」より「Webhook URL」をコピーします。



⑫Slack 作成したスペースに「テスト送信」が表示されます。



■ミライAI設定

①「シナリオ」より「編集」ボタンを押します。



- ② 「会話内容をチャット送信」より「追加」ボタンを押します。

- ③ 「Slack」をクリック、「WebhookURL」にコピーしたURLを貼り付け、「テスト接続」を押します。

- ④ 「通知条件」を選択の上、「追加する」および「保存」を押します。
 ※通知条件：「通話の後に送信」（通話履歴がまとまった形式でチャット送信されます）をご選択ください。

会話内容をチャット送信追加

Google Chat

+

Slack

+

チャンネル名

テスト

Webhook URL

https://hooks.slack.com/services/T07F0PN51AP/B09UT6

※Slackで発行したWebhook URLを設定してください

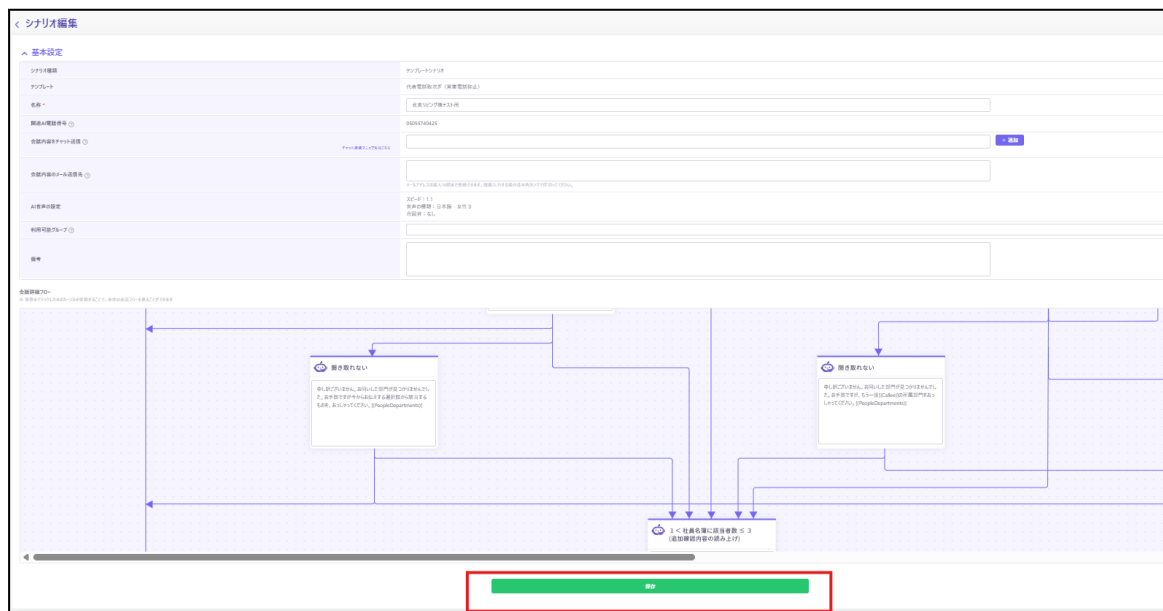
通知条件

☐ 会話内容を即時送信

☒ 通話の後に送信

テスト接続

追加する



3、Chatworkとの連携方法

■Chatwork事前準備

①「サービス連携」を押します。



②「API Token」をクリックし、Chatworkのパスワードを入力の上、「表示」ボタンを押します。



③「API Token」をコピーします。



④Chatworkのメイン画面にて、Chatworkのルームを開いた際のアドレスバーの末尾、「https://www.chatwork.com/#!rid」に続く数字（ルームID）をコピーします。



■ミライAI設定

① 「シナリオ」より「編集」ボタンを押します。



② 「会話内容をチャット送信」より「追加」ボタンを押します。



③ 「Chatwork」をクリックします。

「API Token」にコピーしたAPI Tokenを、
 「ルームID」にコピーしたChatworkのルームを開いた際のアドレスバーの末尾「<https://www.chatwork.com/#!rid>」に続く数字（ルームID）をそれぞれ貼り付け、
 「テスト接続」を押します。

会話内容をチャット送信追加

Google Chat +

Slack +

Chat Work +

ルームID

※通知先のルームIDを設定してください 例)12345678

APIトークン

Chatworkで発行したAPIトークンを設定してください

通知条件

☒ 会話内容を即時送信

☐ 通話の後に送信

テスト接続 追加する

④Chatworkの指定したルームに「テスト送信」が表示されます。

検証用
テスト送信

Enterで送信

ここにメッセージ内容を入力
(Shift + Enterキーで送信)

- ⑤ 「通知条件」を選択の上、「追加する」および「基本設定保存」を押します。

会話内容をチャット送信追加

Google Chat

+

Slack

+

Chat Work

+

ルームID

※通知先のルームIDを設定してください 例)12345678

APIトークン

Chatworkで発行したAPIトークンを設定してください

通知条件

☒ 会話内容を即時送信

☐ 通話の後に送信

テスト接続

追加する

?

検証テスト様

シナリオ編集

基本設定

基本設定保存

※デモ用のシナリオのため、【シナリオ入口番号】の編集、かつ、転送機能のご使用はできません。

テンプレート	秘書代行
名称	秘書代行
シナリオ入り口番号	
会話内容をチャット送信 ②	chatWork + 追加
会話内容のメール送信先 ②	サービス連携の設定方法について メールアドレスを記入して[Enter]キーを押してください

4、Teamsの連携方法

<ご注意点>

2024年8月にMicrosoft Teams「Office 365 コネクター」廃止に伴い

Teams連携方法が変更となっております。予めご了承ください。

以下の通りMicrosoft Power Automateを使用して連携する方法をご案内いたします。

■Microsoft Teams連携に関する推奨プランのご案内

▽【連携に必要な条件】

Power Automateの「プレミアムコネクタ」および「カスタムコネクタ」が利用可能なプランである必要があります。以下のプランに加入されている方はご利用いただけることを確認済みです。

- Microsoft 365 Business Basic（※弊社ソフトもこちらを利用中です）
- Microsoft 365 Business Standard

▽【ご注意点】

- 家庭用（Personal / Family）や無料版アカウントでは連携ができませんのでご注意ください。
- すでにMicrosoft 365を導入済みの場合は、現在のご契約プランに「Teams」が含まれているかをご確認ください。

※事前にTeamsで【グループの作成】を行ってください。

■Teams事前準備

1. 事前に「Microsoft Authenticator」アプリケーションをiPhoneまたはAndroid端末へダウンロードいただき、利用設定をしてください。
Microsoft Power Automateへアクセス時に必要となります。

2. Microsoft Power Automateへアクセスします。

▽URL

<https://make.powerautomate.com/>

3. 左メニューの「+作成」をクリック後、「自動化したクラウドフロー」をクリックします。



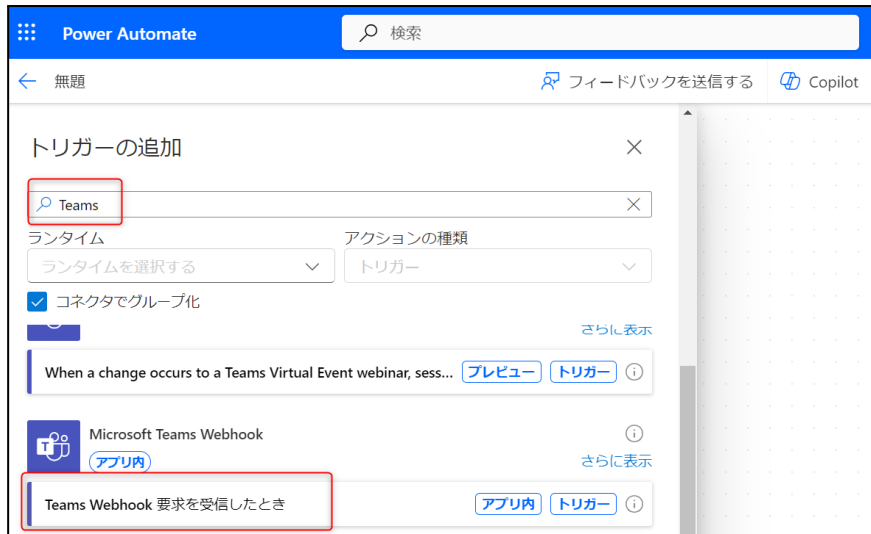
4. 3の後、ポップアップが表示される場合はスキップします。スキップ後、次の画面へ遷移するまで少し待ちます。



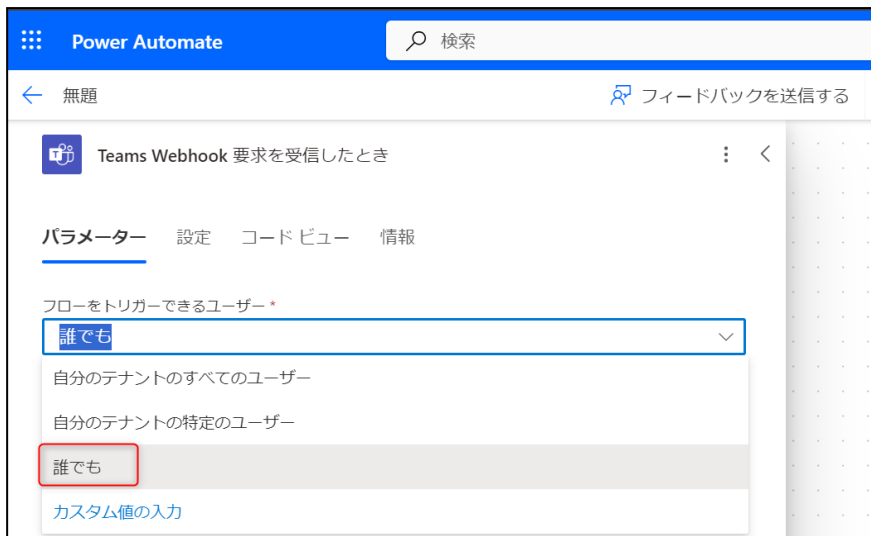
5. 「トリガーの追加」をクリックします。



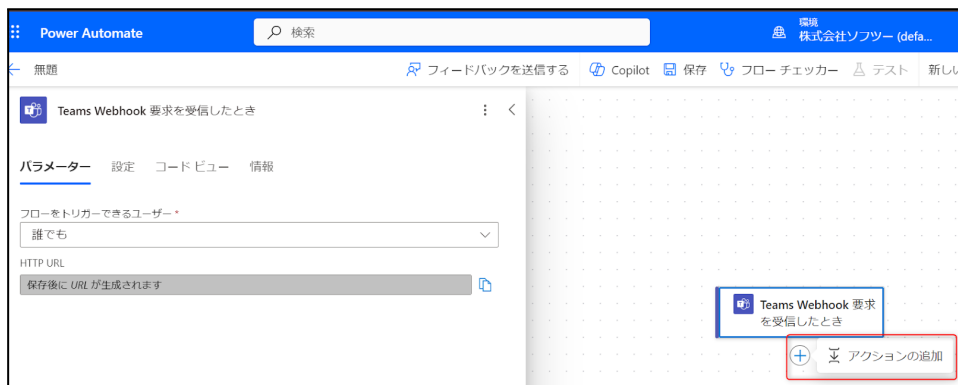
6. 検索ボックスに「Teams」と入力後、「Microsoft Teams Webhook」の「Teams Webhook要求を受信したとき」をクリックします。



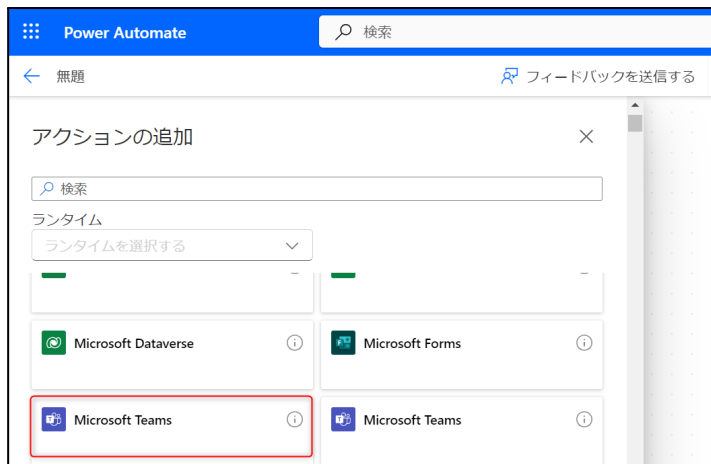
7. パラメータの「フローをトリガーできるユーザー」に「誰でも」をクリックします。



8. 「Teams Webhook要求を受信したとき」の下に表示されている「+」マークをクリック後、「アクションの追加」をクリックします。



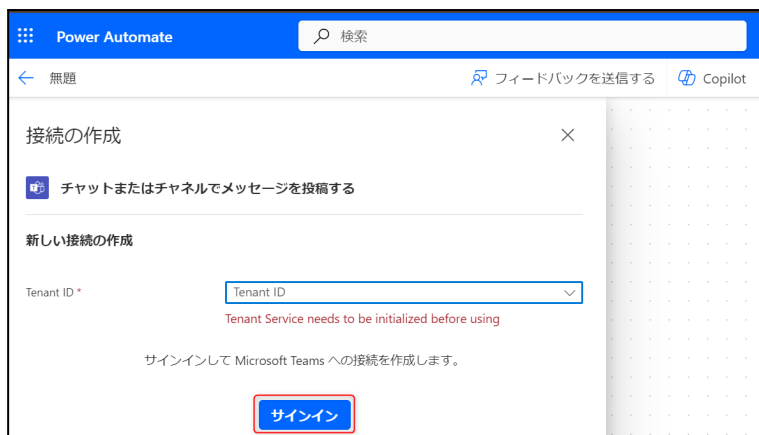
9. アクションの追加から「Microsoft Teams」をクリックします。



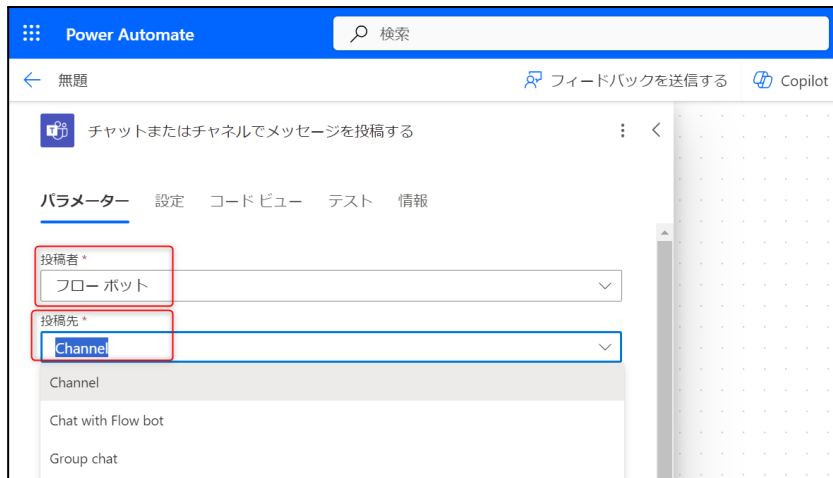
10. 「チャットまたはチャンネルでメッセージを投稿する」をクリックします。



11. 以下の画面が表示された場合、「サインイン」をクリックして認証してください。



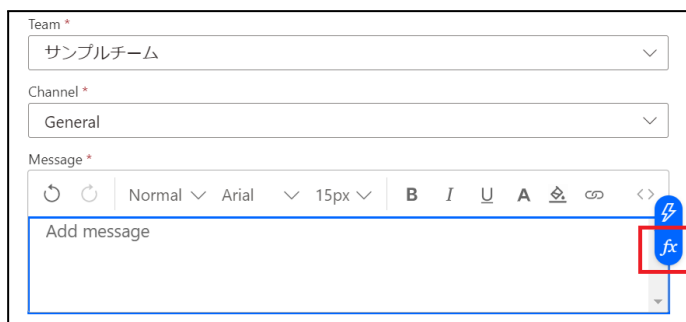
12. パラメータで投稿者は「フローボット」を選択します。
投稿先は「Channel」または「GroupChat」を選択します。



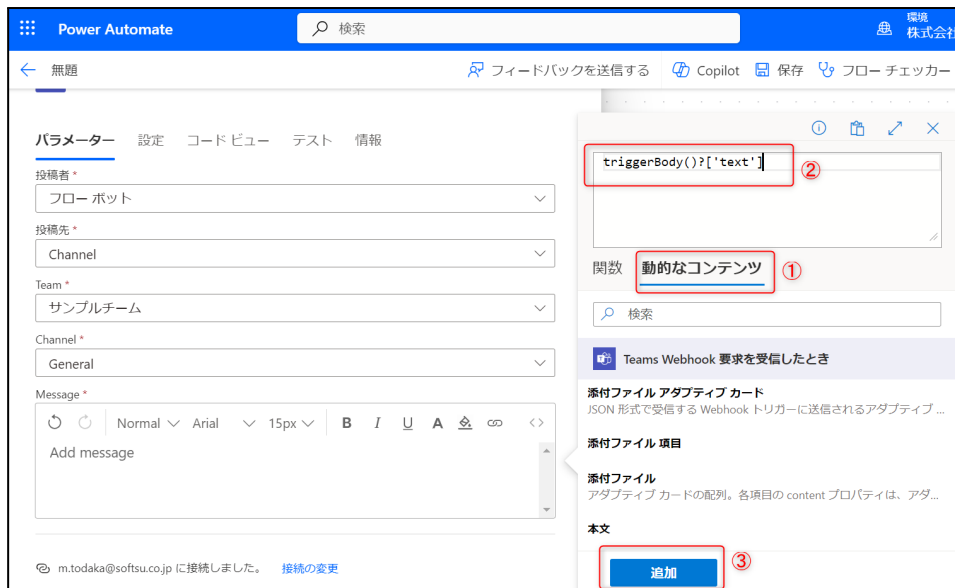
13. Teamsに、チャット連携したいチームを選択します。
Channelは「General」を選択してください。



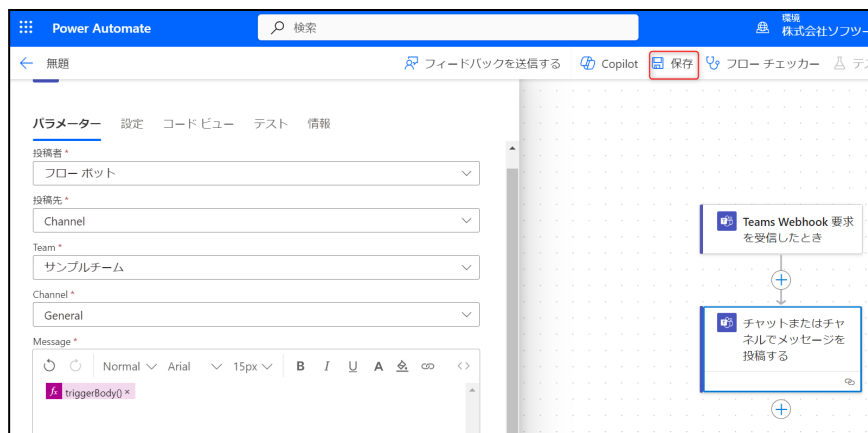
14. 「Add Message」を一度クリックしてから、右側に青く表示されている「fx」をクリックします。



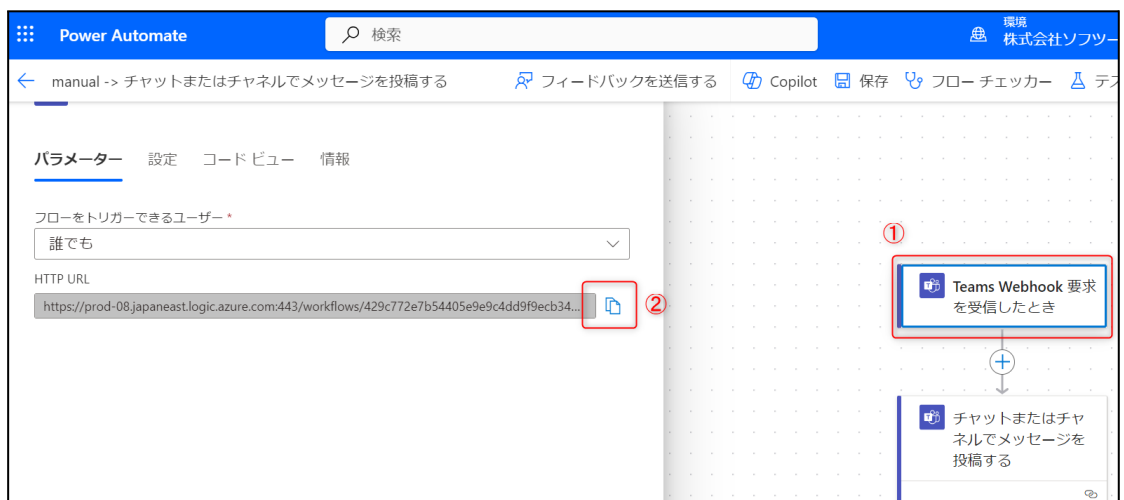
15. ①右側にボックスが表示されるため「動的なコンテンツ」をクリックします。
②ボックス内に `triggerBody()?['text']` と入力してください。
③追加をクリックします。



16. 「保存」ボタンをクリックしてください。



17. ①「Teams Webhook要求を受信したとき」をクリックします。
②HTTP URLがコピーできるため、クリックしてコピーします。Webhook URLが取得できます。



■ミライAI設定

①「シナリオ」より「編集」ボタンを押します。



②「会話内容をチャット送信」より「追加」ボタンを押します。



③「Microsoft Teams」をクリック、「HTTP URL (WebhookURL)」にコピーしたURLを貼り付け、「テスト接続」を押します。

会話内容をチャット送信追加

Google Chat +

Slack +

Chat Work +

Microsoft Teams +

Webhook URL

<https://softsu.webhook.office.com/webhookb2/83d94>

※Microsoft Teamsで発行したWebhook URLを設定してください

通知条件

☒ 会話内容を即時送信

☐ 通話の後に送信

テスト接続

追加する

④Microsoft Teamsの選択したチャンネルに「テスト送信」が表示されます。



⑤「通知条件」を選択の上、「追加する」および「基本設定保存」を押します。

会話内容をチャット送信追加

Google Chat +

Slack +

Chat Work +

Microsoft Teams +

Webhook URL

<https://softsu.webhook.office.com/webhookb2/83d94>

※Microsoft Teamsで発行したWebhook URLを設定してください

通知条件

☒ 会話内容を即時送信

☐ 通話の後に送信

テスト接続

追加する

[ご意見・ご要望](#) 91  検証テスト様

シナリオ編集

 シナリオの保存が成功しました。

基本設定

テンプレート	秘書代行
名称	簡易版秘書代行
関連AI電話番号 ①	未設定
会話内容をチャット送信 ②	 microsoftTeams  + 追加 サービス連携の設定方法について
会話内容のメール送信先 ③	メールアドレスを記入して[Enter]キーを押してください
備考	

基本設定保存

5、LINE WORKSの連携方法

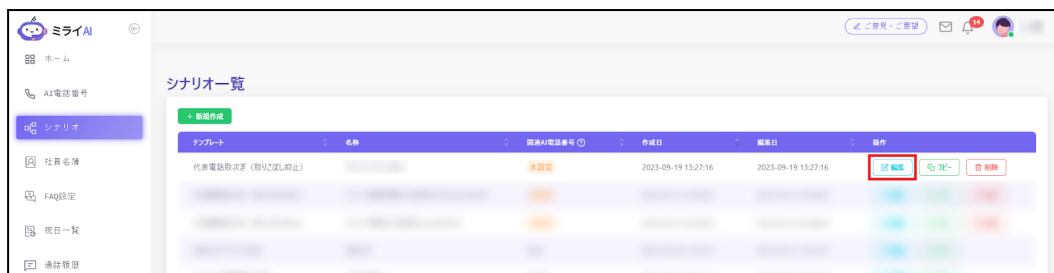
【設定の流れ】

LINE WORKSのDeveloper ConsoleならびにAdminから、ミライAIとの連携に必要な情報を取得していきます。その過程上でbotやトークなどの整備を行う流れとなります。なお、LINE WORKSにて、すでにチームを作成して運用をされている場合、管理者のみが設定できるものとなります。あらかじめご了承ください。

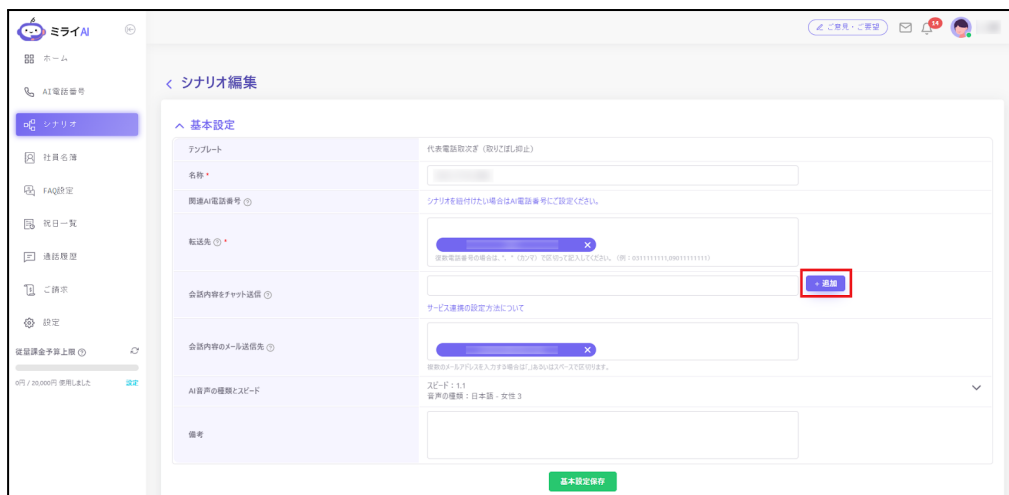
※複数人トークルームの設定をご希望の場合は[こちら](#)をご参照ください。

■ミライAI設定

①「シナリオ」より「編集」ボタンを押します。



②「会話内容をチャット送信」より「追加」ボタンを押します。



③この時表示されたポップアップに、LINE WORKSのDeveloper ConsoleならびにAdminから①～⑥の情報を得て入力していく形になります。次の項目より、情報の入手手順についてご案内いたします。

■LINE WORKSからの情報取得

① <https://developers.worksmobile.com/jp/>

上記URLにアクセスし、「Console」からAPIの中にある「ClientApp」をクリック後、「アプリの新規追加」をクリックします。



② 「アプリの新規追加」を押した際に任意の名前を登録し、「同意して利用する」をクリックします。

仮で「テスト_ソフツ」を名称を設定しました。

③名前をつけた後に「同意して利用する」をクリック後「アプリの説明」を入力してから一度「保存」すると以下の情報が表示されます。

赤枠の①と②の情報をミライAIのポップアップに対して入力します。

W Developers Console

Console

API

ClientApp

Statistics

Bot

SSO

組織連携

Domain ID : 400484573
Tenant ID : 400484573

アプリ情報

OAuth2.0ベースの認可システムを利用できます。 アプリ情報を入力してください。

アプリ名 テスト_ソフツ

アプリの説明 ミライAI連携用

Client ID ① un2VMhF06YCL6iYCwrhk

Client Secret ② 7fRBpvlkn

Redirect URL https://example.com

OAuth Scopes 管理

保存 キャンセル

※現時点でのミライAI入力画面（①～②までが入力済となります）

Microsoft Teams

LINE WORKS

チャット名

任意のチャット名を入力

Client ID ①

Client Secret ②

Service account ID

Bot ID

Channel ID

Private Key

通知条件

☒ 会話内容を即時送信

☐ 通話の後に送信

テスト接続 追加する

④その後「OAuth Scopes」の「管理」を押します。

W Developers Console

Console

API

ClientApp

Statistics

Bot

SSO

組織連携

Domain ID : 400484573
Tenant ID : 400484573

アプリ情報

OAuth2.0ベースの認可システムを利用できます。 アプリ情報を入力してください。

アプリ名 テスト_ソフツ

アプリの説明 ミライAI連携用

Client ID un2VMhF06YCL6iYCwrhk

Client Secret 7fRBpvlkn

Redirect URL https://example.com

OAuth Scopes 管理

⑤「bot」「bot.message」「bot.read」にチェックを入れて、保存します。

OAuth Scope の選択

・アプリが利用する Scope を選択してください。
 ・ご利用のプランによっては、一部のScopeは表示されません。
 ・openid Scopeを利用するとID Tokenを発行できます。ただし、Service Account認証では利用できません。
 ・openid Scope に profile、email Scope を組み合わせることで、ID Token のペイロードに追加のクレームを含めることができます。

Scope	説明
☐ board.read	掲示板サービスへの読み取り権限：掲示板/投稿/コメントの取得
☒ bot	Bot機能の書き込み/読み取り権限：Bot情報、リッチメニュー/固定メニューの管理、コンテンツのアップロード/ダウンロード、メッセージの送信、WOFF
☒ bot.message	Botのメッセージ機能の書き込み/読み取り権限：リッチメニュー/固定メニューの管理、コンテンツのアップロード/ダウンロード、メッセージの送信、WOFF
☒ bot.read	Bot機能の読み取り権限：Bot情報やリッチメニュー/固定メニュー設定の取得、コンテンツのダウンロード
☐ calendar	カレンダーサービスへの書き込み/読み取り権限：カレンダーの管理、予定の取得/作成/編集/削除
☐ calendar.read	カレンダーサービスへの読み取り権限：カレンダー情報の取得、予定

⑥ ⑤保存後、「Service Account」の「発行」ボタンをクリックします。

Developers Console

Console

API

ClientApp

Statistics

Bot

SSO

組織連携

Domain ID : 400484573
 Tenant ID : 400484573

テスト_ソフツ

ミライAI連携用

Client ID un2VMhF06YCL6YCwrhk

Client Secret 7fRBpvtlkn

Redirect URL

Service Account ?

Service Accountは管理者と同じ権限が付与され、選択したScopeにアクセスできます。Service Accountを発行すると、管理者されます。

OAuth Scopes ?

⑦ ⑥で発行された「Service Account」の情報をコピーして、ミライAIの③のポップアップに対して入力します。

Developers Console

Console

API

ClientApp

Statistics

Bot

SSO

組織連携

Domain ID : 400484573
 Tenant ID : 400484573

テスト_ソフツ

ミライAI連携用

Client ID un2VMhF06YCL6YCwrhk

Client Secret 7fRBpvtlkn

Redirect URL

Service Account ? ③

Private Key

OAuth Scopes ?

⑧その後「Private Key」より「発行/再発行」を押し、データをダウンロードします。このデータの内容が⑥となります。メモ帳などで展開し、BEGINとENDも含めたすべての内容をコピーし、ミライAIの⑥のポップアップに入力します。

※現時点でのミライAI入力画面（①②③・⑥までが入力済となります）

⑨左側ツールバーより「Bot」を選択した後、「登録」を押します。

⑩以下画像の通り、必須項目「Bot名」・「説明」・「管理者・主担当」に任意の情報を入力してください。

※「管理者・主担当」は管理者の名前やメールアドレスで検索します。

本マニュアルではBot名を「テストbot」と入力しました。

入力が終わったら、最下部の「保存」をクリックしてください。

The screenshot shows the 'Bot' creation page in the Developers Console. The left sidebar contains 'SSO' and '組織連携' (Organization Linkage) sections. The main area is titled 'Bot' and includes a 'Botリストへ' (Back to Bot List) link. The form fields are as follows:

- Bot名**: テストbot (highlighted with a red box)
- 説明**: ミライAI連携用テストbot (highlighted with a red box)
- Bot ID**: Botの登録完了時に発行されます。
- API Interface**: API 1.0 (radio button), API 2.0 (radio button, selected). A note states: '* API 1.0はサービスの提供を終了しました。API Interfaceおよび利用中のAPIをAPI 2.0に切り替えてください。アップグレードガイド'.
- 固定メニュー**: 固定メニュー登録APIで設定します。
- Callback URL**: On (radio button), Off (radio button, selected).
- Botポリシー**: トークルームへの招待. A checkbox '複数人のトークルームに招待可' is unchecked. A note states: '* 無効にするとBotとの1:1トークのみ可能になります。ただし、Botとのトークを開始するメンバーは権限が必要です。権限設定は管理者画面で行います。' Another note states: '* 有効にすると、複数人のトークルームにBotを招待できます。管理者画面での設定時には、全メンバーがこのBotを利用可能になります。特定メンバーのみに権限を付与することはできません。'
- 主担当**: 名前またはメールアドレスを検索. A search result '管理職 softsu.co.jp' is shown (highlighted with a red box).
- 副担当**: 名前またはメールアドレスを検索.

At the bottom, there are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. The '保存' button is highlighted with a red box.

【複数人トークルームの設定方法】

複数人トークルームの設定方法は以下URLをご参照ください。

https://miraiai.jp/wp-content/uploads/document/manual_chat_Lineworks.pdf

⑪ 保存後、作成したBot名をクリックしてください。



⑫ 「BotID」をミライAIの④のポップアップに入力します。



※現時点でのミライAI入力画面（⑤を除き入力済となります）



⑬ LINE WORKSのAdmin画面を開きます。

点が9個並んだツールバーをクリックし、「アプリ」（パズルのピースの形）をクリックします。



⑭Adminに遷移するため、左端ツールバーの「サービス」>「Bot」から「Bot追加」をクリックします。



⑮「Bot追加」画面に入った後、作成したbotを選択します。赤枠の「追加」を押し「OK」を押します。



⑯追加されたbotをクリックします。



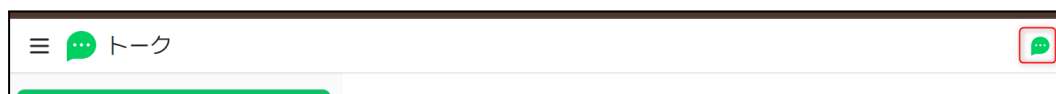
⑰詳細ポップアップに対して「修正」をクリックします。



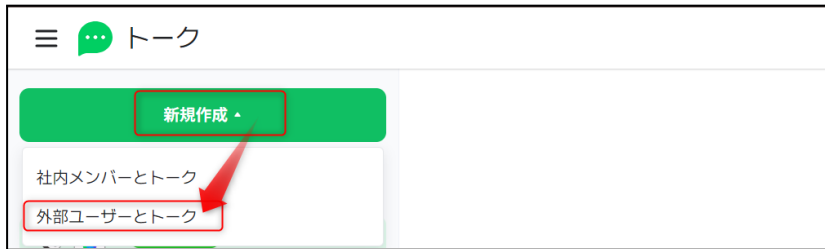
⑱使用範囲を「すべて」・公開設定を「ON」にし「保存」をクリックします。



⑲LINE WORKSトークに戻ります。



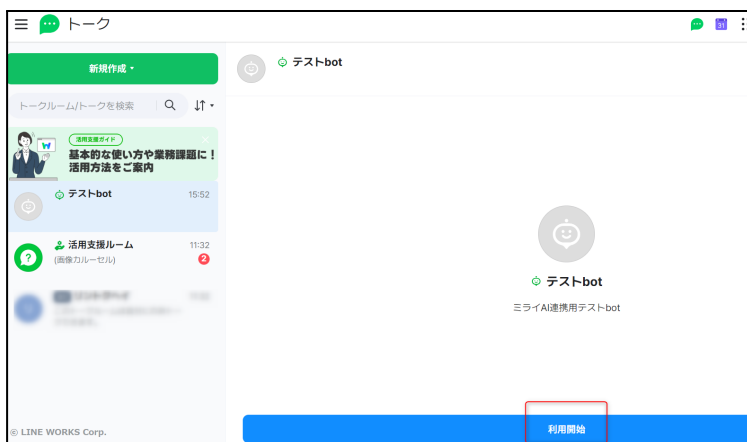
②⑩左上の「新規作成」ボタンより2番目の「外部ユーザーとトーク」を押します。



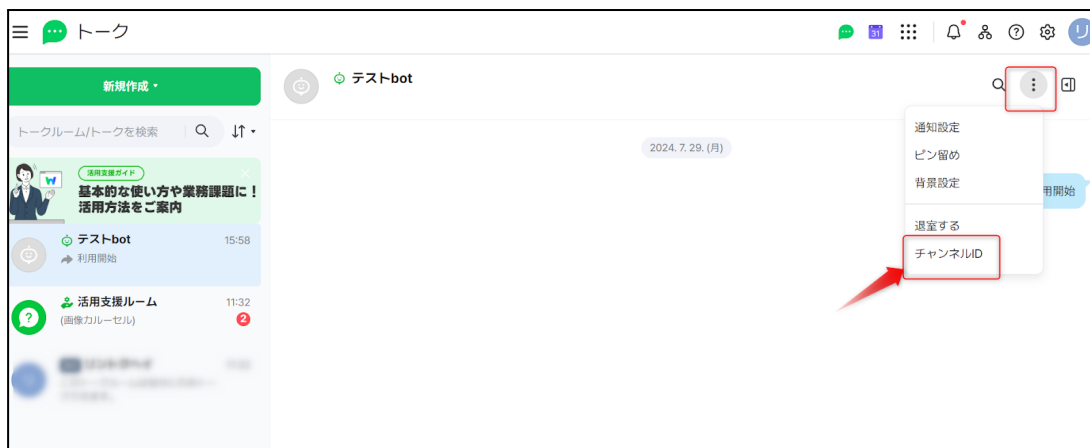
②⑪「Bot」タブをクリックし、⑩で作成した「Bot名」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



②⑫出てきたポップアップに対して、最下部の利用開始を押します。



②⑬トーク画面が開くため、右端「…」アイコンより「チャンネルID」を選択します。



②④チャンネルIDをミライAIのポップアップに入力します。



※現時点でのミライAI入力画面（これでLINE WORKSから必要な情報はすべて入力しました）
 念のため「テスト接続」から、
 連携できているかをテストいただきますようお願いいたします。

■ミライAI設定

①すべての情報を入力後、最下部にある「基本設定保存」を押し連携設定完了となります。